

SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES REPORT

住友ゴムレポート

第130期 中間報告書

2021年1月1日 ▶ 2021年6月30日


 住友ゴム工業株式会社
 SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.


株主の皆様へ



代表取締役 社長 山本 悟

株主の皆様におかれましては平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第130期中間報告書をお届けするにあたり、はじめに2021年7月30日に公表いたしました「品質管理に係る不適切事案」につきまして、お詫びと現状のご報告をさせていただきます。

当社加古川工場での防眩材検査および南アフリカ子会社でのタイヤ生産における品質管理に係る不適切な事案により、株主の皆様にご多大なご迷惑とご心配をお掛けしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

本件の判明後、直ちに私を委員長とする緊急対策委員会を立ち上げ、安全性についての検証を進めるとともに、お客様に対して誠心誠意速やかな対応を行っているところです。

また、外部弁護士を加えた特別調査委員会による社内調査を開始しており、本件の原因究明を行うとともに、再発防止策を策定してまいります。

当社はこれまで、コーポレート・ガバナンスの充実を重要な経営課題として位置付け、企業活動を行ってまいりました。今回、品質管理に係る不適切な事案が判明しましたことを、社長として大変重く受け止めております。

今後このような事態を二度と生じさせないよう、品質管理体制の強化ならびに徹底した体質改善および意識改革を行い、再発防止とお客様からの信頼回復に努めてまいります。

第130期上半期の概況

さて、当第2四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年6月30日まで）の世界経済につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により不透明な状況にありましたが、持ち直しの動きも見られました。当社グループを取り巻く情勢については、為替の円安により輸出環境が改善したことに加え、米国や中国をはじめ多くの市場で回復基調となるなど明るい兆しが見えましたが、天然ゴム価格や石油系原材料価格の上昇、海上輸送コスト上昇の影響を受けました。

このような情勢のもと、中期計画の実現に向けて経営基盤の強化を目指して全社プロジェクトを強力に推進するとともに、世界各地の顧客ニーズに対応した高機能商品の開発・増販などグローバル体制による競争力の強化を推進した結果、グループ全体としては増収増益となりました。

事業別には、タイヤ事業については、国内・海外ともに新車用タイヤは世界的な半導体不足の影響はあったものの、前年同期比では回復傾向となりました。また、市販用タイヤは高機能商品の販売が伸び、全体としてタイヤ事業は増収増益となりました。

スポーツ事業では、ゴルフ用品・テニス用品ともに各主要市場の縮小に反転が見られ海外を中心に販売を伸ばし、ウェルネス事業も増収となった結果、全体として増収増益となりました。

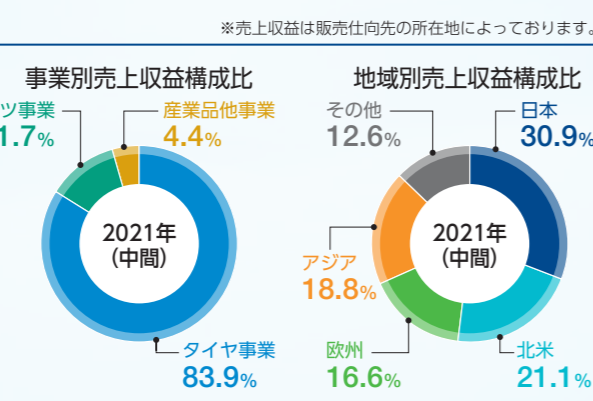
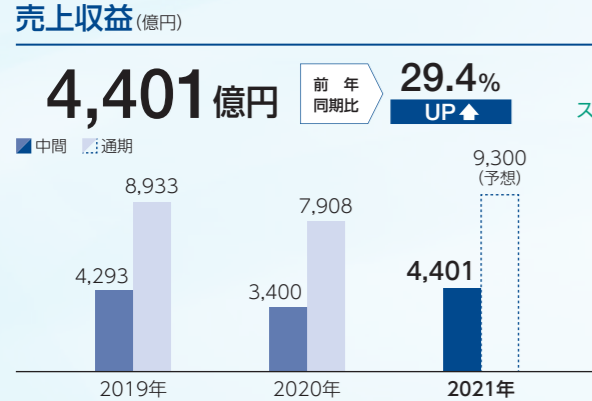
産業品他事業では、ゴム手袋や医療用精密ゴム部品は販売増となりましたが、インフラ系商材での大型物件の減少や制振ダンパーの受注減により、売上収益は前年同期をわずかながら下回り、事業利益も減益となりました。

なお、通期の連結業績予想は新型コロナウイルス感染症の影響により依然として不透明な経済状況にあるものの、最近の業績動向を踏まえ、次頁の各ハイライトのとおり見込んでおります。

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結財務ハイライト

(注) 当社グループは、財務情報の国際的な比較可能性向上と、経営管理の品質向上のため、2016年12月期より国際会計基準(IFRS)を適用しております。また、記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

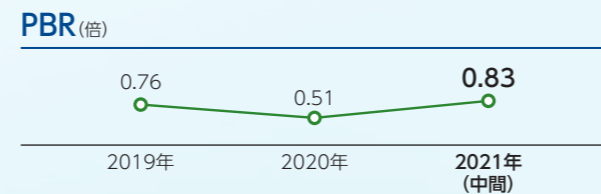
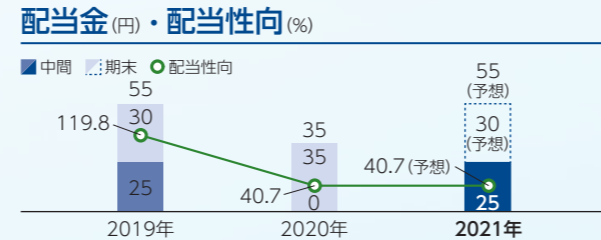
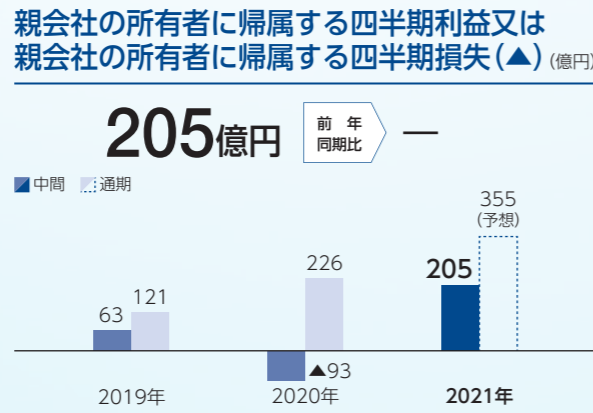
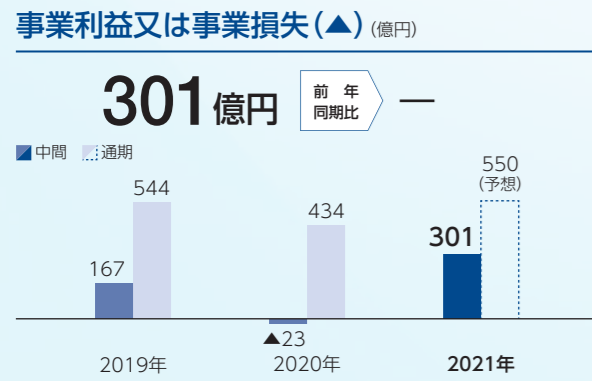


業績予想 (億円)

	2019年 通期実績	2020年 通期実績	2021年 通期予想
売上収益	8,933	7,908	9,300
事業利益 ^{#1} (率)	544 (6.1%)	434 (5.5%)	550 (5.9%)
営業利益 (率)	331 (3.7%)	387 (4.9%)	520 (5.6%)
当期利益 ^{#2}	121	226	355

^{#1} 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出してあり、日本基準の営業利益に概ね相当します。当社の業績を評価する上で有用な情報であると考え、追加的に開示しております。

^{#2} 親会社の所有者に帰属する当期利益は、日本基準の親会社株主に帰属する当期純利益にあたります。



HIGHLIGHTS BY BUSINESS

事業別ハイライト

タイヤ事業

TOPICS

DUNLOP SUV用スタッドレスタイヤ「WINTER MAXX SJ8+」を新発売

「WINTER MAXX SJ8+」は、高密度な「ナノ凹凸ゴム」によって滑りの原因となる水膜を素早く除去し、高い密着力を実現。従来品に比べ新品時の氷上性能を大幅に向上させています。高い氷上性能を長期間維持することで、使用シーンが多岐にわたるSUV車両ユーザーの皆様へ安全・安心な冬のドライブを足元から支えます。

売上収益: 3,693億円 (前年同月比 27.0% UP)

事業利益: 235億円 (前年同月比 —)

スポーツ事業

TOPICS

パドミントン ラケット・ストリング・シャトル DUNLOPブランドでパドミントン商品の国内展開を開始

さらなるラケットスポーツビジネスの拡大を目指し、2021年7月から国内でのパドミントン商品の展開を開始しました。ゴルフクラブ・テニスラケットで培った技術を活用したラケットのほか、シャトルやストリングなど、全方面からプレイヤーをサポートします。

売上収益: 514億円 (前年同月比 72.4% UP)

事業利益: 55億円 (前年同月比 —)

産業品他事業

TOPICS

スポーツ用人工芝「ハイブリッドターフEXII」新発売

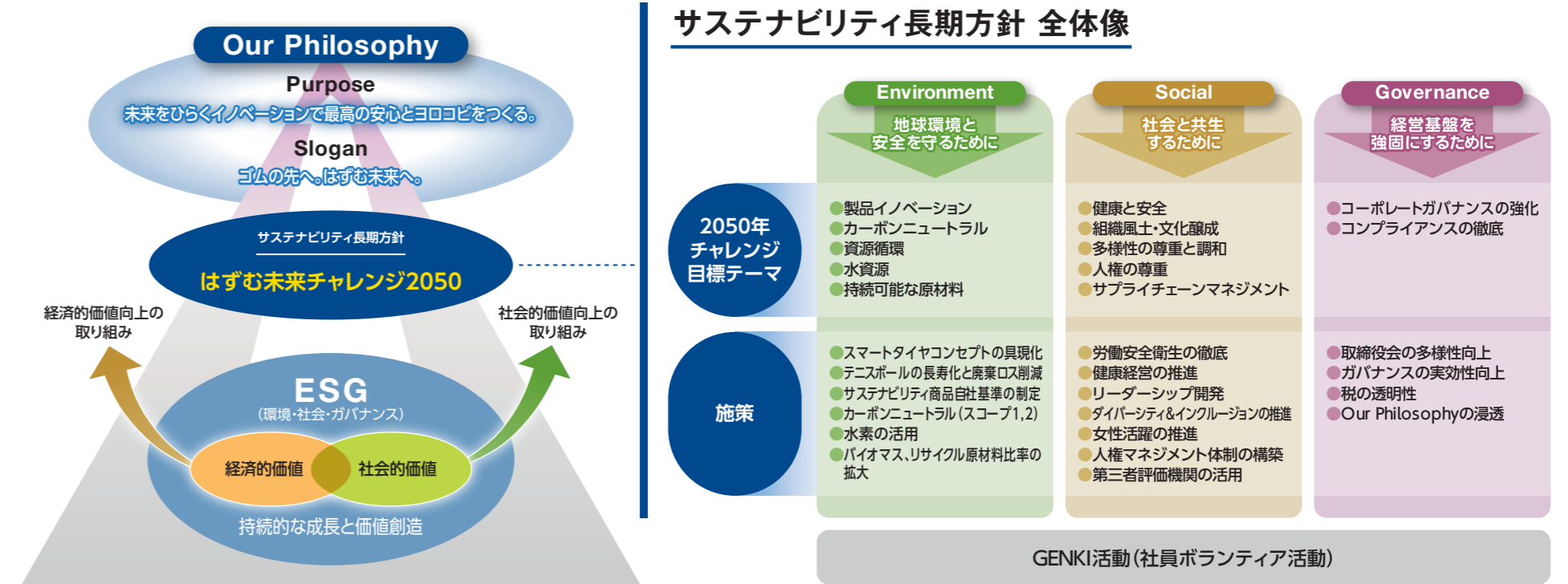
「ハイブリッドターフEXII」は、2015年の発売以来累計50万㎡を超える実績を誇る「ハイブリッドターフEX」の高耐久性を継承した人工芝です。分厚さとしなやかさを両立し、夏場の高温対策として温度抑制機能も備えています。

売上収益: 194億円 (前年同月比 0.1% DOWN)

事業利益: 11億円 (前年同月比 27.3% DOWN)

サステナビリティ長期方針を策定

社会課題解決へ事業を通じて貢献し、私たちの存在意義・Purposeを体現するために。



当社は以前から経済的価値と社会的価値の向上を図るべくESG経営を進めておりますが、気候変動の拡大を背景としたカーボンニュートラルへの急激なシフトなど、社会課題は大きく変化しております。このような環境の中、社会と当社が持続的成長を遂げるためには2050年を見越した長期視点での方針が必要と考え、当社の企業理念であるOur Philosophyをもとにサステナビリティ長期方針を策定いたしました。

サステナビリティ長期方針では全体のスローガンを、はずむ未来を実現するという意味を含めて「はずむ未来チャレンジ2050」とし、当社グループの全従業員が心をつなげてサステナブル(持続可能)な社会を実現していくことを目指します。

「はずむ未来チャレンジ2050」では、社会課題解決を図るべく、当社のチャレンジ目標テーマを「環境(E)」「社会(S)」「ガバナンス(G)」でそれ

ぞれ設定し、タイヤ、スポーツ、産業品の各事業で取り組みを実行してまいります。すでにCO₂削減、原材料のバイオマス比率、リサイクル比率などサステナビリティを考慮した自社基準を制定し、「SRIサステナブルプロダクト」として各事業で導入することといたしました。この自社基準をクリアした商品の販売を拡大することで循環型社会への貢献を目指します。特にタイヤ事業においては2050年に向けて、当社ならではの循環型タイヤビジネスの確立を目指してまいります。また、本年6月には気候変動が事業に与える影響の開示を推奨しているTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言にも賛同いたしました。

当社グループは社会や環境と共存しながら、経済的価値のみならず社会的価値の向上にも取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。



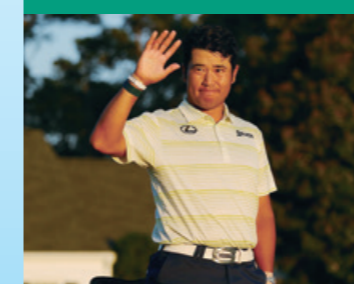
PICK UP

松山英樹選手「マスタース・トーナメント」優勝!

当社とゴルフ用品使用契約を結んでいる松山英樹選手が、2021年4月に米国のオーガスタ・ナショナル・ゴルフクラブで行われたPGAツアーメジャー大会「マスタース・トーナメント」で、アジア人として初めて優勝しました。大会最終日、ただ一人、2桁アンダーの首位スタートで発進した松山選手は、他の出場選手のスコアが伸び悩む中、前半に2つスコアを伸ばしました。後半は厳しいゴルフが続いたものの、最終トータル10アンダーで見事優勝。ゴルフなら誰もが夢見る「グリーンジャケット」に袖を通しました。

松山選手は2011年にアマチュアとして同大会に初出場し日本人初となるローアマチュアを獲得。2013年のプロ転向後、当社とゴルフ用品使用契約を締結しました。2014年からはPGAツアーに本格参戦し、8年目のシーズンで初のメジャー大会制覇となりました。現在の世界ランキングは18位(8月16日時点)。松山選手のさらなる活躍をご期待ください。

松山選手コメント



表彰式でガッツポーズが出来て良かったと思います。今日(最終日)は自分のベストを尽くすことだけを考えてプレーしました。緊張して簡単にパーディを獲得する状態ではなかったので、慎重にプレーをすることを心掛けました。日本人でも優勝ができるということが分かったと思うので、これからプロを目指しているみなさんも頑張って欲しいと思います。そして、10年前僕の背中を押してくれたみなさんのおかげがあって今の自分があると感謝しています。

松山英樹選手のプロフィールと主な戦歴

生年月日: 1992年2月25日(29歳)
出身地: 愛媛県

<優勝歴>

- 日本 8勝 (国内メジャー1勝含む)
- 米国 6勝 (海外メジャー1勝含む)
- 2014年 ザ・メモリアルトーナメント
- 2016年 WGC HSBCチャンピオンズ
- ウェストマネジメント フェニックスオープン
- 2017年 WGCブリヂストン招待
- ウェストマネジメント フェニックスオープン
- 2021年 マスタース・トーナメント



当社グループの詳しい活動内容につきましては、「統合報告書2021」にも記載しております。



スミトモラバードブラジルが ファゼンダ・リオ・グランデ市 「名誉賞」を受賞

住友ゴムグループのブラジルにおけるタイヤ製造・販売子会社であるスミトモラバードブラジルが、工場が所在するファゼンダ・リオ・グランデ市議会から、同市の最高位の賞である「名誉賞」を企業として初めて2021年6月に受賞しました。

スミトモラバードブラジルは2011年に設立、2013年にタイヤ生産を開始。高品質のタイヤをブラジル社会に提供するとともに雇用を生み出し、さまざまな需要を呼び起こして地域の発展に資するよう努めてまいりました。今回の受賞は、これまでの努力と活動が評価されたものと考えております。



「名誉賞」を受けるスミトモラバードブラジルの脇谷社長(左)

スミトモラバードブラジル概要

会社名	Sumitomo Rubber do Brasil Ltda
所在地	パラナ州ファゼンダ・リオ・グランデ市
代表者名	脇谷 宜典 (社長)
設立年月	2011年7月
操業開始	2013年10月
事業内容	乗用車・ライトトラック用、 トラック・バス用タイヤの製造・販売
生産能力	乗用車・ライトトラック用18,000本/日、 トラック・バス用1,000本/日
従業員数	1,597名(2020年12月末)

受賞コメント

スミトモラバードブラジル社長 脇谷 宜典

私たちがこれまで事業を続けてこられたのは、さまざまな方々のご協力を得られたからこそであります。この地に進出して10年。決して平坦な道のりではありませんでしたが、10年の歩みを振り返りましても、さまざまな環境変化の中で変わらず関係者の皆様に支えていただいたこと、感謝の念に堪えません。これからも、この地での事業をさらに発展させ、地域社会とともに歩んでまいりたいと思います。

CORPORATE PROFILE / STOCK INFORMATION

会社・株式情報

会社の概要

(2021年6月30日現在)

創業	1909年10月4日
資本金	42,658,013,576円
従業員	7,540名
本社	神戸市中央区脇浜町三丁目6番9号 電話078-265-3000(代表)
東京本社	東京都江東区豊洲三丁目3番3号 豊洲センタービル 電話03-5546-0111(代表)
工場	
〈タイヤ事業〉	白河・名古屋・泉大津・宮崎・ インドネシア・中国(常熟・湖南)・ タイ・ブラジル・南アフリカ・ トルコ・米国
〈スポーツ事業〉	市島・宮崎・インドネシア・ フィリピン・タイ・米国
〈産業品事業〉	加古川・泉大津・マレーシア・ 中国(中山)・ベトナム・スイス・ スロベニア

取締役、監査役および執行役員

(2021年6月30日現在)

取締役会長	池田 育 嗣	執行役員	小松 俊 彦
代表取締役社長	山本 悟 (社長)	執行役員	増田 栄 一
代表取締役	木滑 和 生 (副社長)	執行役員	齋藤 健 司
取締役	伊井 康 高 (専務執行役員)	執行役員	村上 博 俊
取締役	石田 宏 樹 (常務執行役員)	執行役員	リチャード・スモールウッド
取締役	黒田 豊 (常務執行役員)	執行役員	川松 英 明
取締役	原田 直 典 (常務執行役員)	執行役員	大西 章 夫
取締役	西口 豪 一 (常務執行役員)	執行役員	家根谷 尚 文
社外取締役	高坂 敬 三	執行役員	田中 敦 彦
社外取締役	村上 健 治	執行役員	山下 文 一
社外取締役	小林 伸 行	執行役員	渡辺 泰 生
社外取締役	其田 真 理	執行役員	岩田 拓 三
常勤監査役	田中 宏 明	執行役員	松井 博 司
常勤監査役	河野 隆 志	執行役員	國安 恭 彰
社外監査役	村田 守 弘	執行役員	河瀬 二 朗
社外監査役	アスリ・チョルパン	執行役員	濱 田 裕 史
社外監査役	安原 裕 文		
常務執行役員	青井 孝 典		
常務執行役員	村岡 清 繁		
常務執行役員	増田 智 彦		
常務執行役員	西野 正 貢		
常務執行役員	大川 直 記		

※取締役の()内の役職は、執行役員としての役職を表しております。

株式の概要

(2021年6月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式の総数	単元株式数	株主数
800,000,000株	263,043,057株	100株	39,171名

大株主

(2021年6月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友電気工業(株)	75,879	28.85
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	14,696	5.59
(株)日本カストディ銀行(信託口)	7,462	2.84
全国共済農業協同組合連合会	7,331	2.79
(株)三井住友銀行	5,215	1.98
住友商事(株)	4,805	1.83
SMBC日興証券(株)	4,201	1.60
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	4,126	1.57
JPモルガン証券(株)	3,316	1.26
JP MORGAN CHASE BANK 385635	2,985	1.14

※持株比率は自己株式(45,519株)を発行済株式の総数から控除して算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年 6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法	電子公告。ただし、不測の事態により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	http://www.srigroup.co.jp/
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)

株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行(株) 証券代行部
郵便物送付先および電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部 ☎0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 5110

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media)についての詳細<https://www.a2media.co.jp>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com